

神戸市立工業高等専門学校に出願された皆様

マークシートの塗りつぶし方法について

解答には必ずHBの黒鉛筆を使用し、「マーク部分塗りつぶしの見本」のとおり に 塗りつぶしてください。
マーク部分が「マーク部分塗りつぶしの見本」のとおりに塗りつぶされていない場合は、解答が無効になることがあります。

マーク部分塗りつぶしの見本					
良い例	悪い例				
	レ点	棒	薄い	はみ出し	丸囲み

○受験番号の場合

百万位と十万位に0を記入し、自分の受験番号を万位から一位に記入してください。マークも塗りつぶしてください。

受験番号欄									
(例)	百万位	十万位		万位	千位	百位	十位	一位	
	0	0	—	0	1	2	3	4	自分の受験番号
00を記入									マークも塗りつぶす
	①	①		①	②	①	①	①	
	②	②		②	②	②	②	②	
	③	③		③	③	③	③	③	
	④	④		④	④	④	④	④	
	⑤	⑤		⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	
	⑥	⑥		⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	
	⑦	⑦		⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	
	⑧	⑧		⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	
	⑨	⑨		⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	

○択一式(選択肢の中から該当する一つを選択する方法)の場合

解答は、問1(1)、(2)のように、一行(一つの欄)に対して、一つだけ塗りつぶしてください。
(3)のように、二つ以上塗りつぶしたり、(4)のように一つも塗りつぶしていない場合は、問1(3)、(4)の得点は与えられません。

問1	(1)	ア	イ		エ	オ
	(2)	ア		ウ	エ	オ
	(3)		イ	ウ		オ
	(4)	ア	イ	ウ	エ	オ

解答を訂正するときは、きれいに消して、消しくずを残さないでください。
問2(1)のように消し残しがある場合や、(2)のように、どちらを消したのか(塗りつぶしたのか)判断できない場合は問2(1)、(2)の得点は与えられません。

問2	(1)	ア	イ			オ
	(2)		イ	ウ	エ	

一つの問題で複数の解答を求められた場合(例:「正しいものを三つ選べ」という問題で、「ウ」、「オ」、「キ」を塗りつぶす場合)
特に指示がないかぎり、順番が違っていても、「ウ」、「オ」、「キ」の3つが塗りつぶしてあれば得点が与えられます。
一行に、複数のマークを塗りつぶすと得点は与えられません。

問3	ア	イ		エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ
	ア	イ	ウ	エ		カ	キ	ク	ケ	コ
	ア	イ	ウ	エ	オ	カ		ク	ケ	コ
問3	ア	イ	ウ	エ	オ	カ		ク	ケ	コ
	ア	イ		エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ
	ア	イ	ウ	エ		カ	キ	ク	ケ	コ
問3	ア	イ		エ		カ		ク	ケ	コ
	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ
	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ

○数学や理科など、計算により値を求める問題を解答する場合

計算により求めた値に該当する数値を塗りつぶします。

値に-(マイナス)の符号がつく場合、-の符号を塗りつぶします。

解答欄の行数と塗りつぶすために必要な個数は一致します。行数が三つならば正の数値で3桁の値、または負の数値で「-」(マイナス)の符号がついた2桁の値になります。

解答欄「アイウ」に「126」と解答する場合。(正の数で3桁の値)

ア	-	0	●	2	3	4	5	6	7	8	9
イ	-	0	1	●	3	4	5	6	7	8	9
ウ	-	0	1	2	3	4	5	●	7	8	9

解答欄「エオカ」に「-83」と解答する場合。(負の数(「-」(マイナス)の符号がついた)2桁の値)

エ	●	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
オ	-	0	1	2	3	4	5	6	7	●	9
カ	-	0	1	2	●	4	5	6	7	8	9

意図的にマス目の数を増やしておき、桁数に満たない場合は最初の数値を0(ゼロ)と塗りつぶす(あるいは何も塗らない)方法は使用しません。解答欄「コサシ」と3マスであった場合で「21」と解答する場合、以下のような解答方法にはなりません。

「コサシ」の3マスに、「021」と記入する解答方法にはならない。

コ	-	●	1	2	3	4	5	6	7	8	9
サ	-	0	1	●	3	4	5	6	7	8	9
シ	-	0	●	2	3	4	5	6	7	8	9

ただし、小数点以下の値を求める場合は、0(ゼロ)を塗りつぶすことがあります。

解答欄「スセソ」と3マスで、「小数第3位を四捨五入して小数第2位で答えよ」といった設問で、「0.20」と解答する場合。

ス	-	●	1	2	3	4	5	6	7	8	9
セ	-	0	1	●	3	4	5	6	7	8	9
ソ	-	●	1	2	3	4	5	6	7	8	9

分数の形の解答は、それ以上約分できない形で解答してください。分数の形の答えに-(マイナス)の符号がつく場合は、分子につけ、分母につけてはいけません。分子が先で分母が後になります。

例えば

$-\frac{3}{4}$ の場合、 $\frac{-3}{4}$ となります。この解答を $\frac{-6}{8}$ と解答しても正解にはなりません。

「タチ」
「ツ」

タ	●	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
チ	-	0	1	2	●	4	5	6	7	8	9
ツ	-	0	1	2	3	●	5	6	7	8	9

根号を含む形で解答する場合も、根号の中に現れる自然数が最小となる形で解答します。

$4\sqrt{2}$ と答えるところを、 $2\sqrt{8}$ のように解答しても正解にはなりません。

「テ」 $\sqrt{\text{「ト」}}$

テ	-	0	1	2	3	●	5	6	7	8	9
ト	-	0	1	●	3	4	5	6	7	8	9